

生涯教育研修活動報告書

病理検査研究班

実施日時：平成 30 年 2 月 16 日（金） 19 時 00 分～21 時 00 分

会場：浦和コミュニティーセンター 第 13 集会室 点数：専門教科—20

点

主題：やってみよう！弾性線維染色

講演 1：弾性線維染色：アンケート集計結果報告

講師：今村 尚貴（川口市立医療センター 検査科病理）

講演 2：EVG 染色の原理とポイント

講師：渡辺 明朗（サクラファインテックジャパン株式会社）

司会：岡村 卓哉（獨協医科大学埼玉医療センター 病理診断科）

協賛： _____

参加人数： 会員 54 名， 賛助会員 _____ 名，

出席した研究班班員：岡村卓哉，渡邊俊宏，森田繁，荻真里子，三鍋慎也，細沼佑介，
関口久男，高橋俊介，今村尚貴，金泉恵美子

研修内容の概要・感想など

今回の研修会は、やってみよう！弾性線維染色と題して EVG 染色を中心にした研修会であった。弾性線維染色の基礎と施設間差の染色性などを比較して技術向上を行ないたいと考え、昨年 7 月に未染標本とアンケートを配布、そのデータをもとに集計および検討を行った。

講演 1 では、まずご協力いただいた標本とアンケートをもとに染色性やプロトコール、また使用している染色液の調整などについて集計・検討して結果報告を行った。レゾルシンフクシン液は全て市販品の使用であったが、それ以外の染色液や分別液、染色液の調整や染色プロトコールには施設間に差がみられた。昨今病理分野でも標準化が求められており、染色液や染色プロトコールの施設間差を縮めることが標準化への近道ではと考えさせられた。

講演 2 では、EVG 染色の原理とポイントとして渡辺氏に講演いただいた。まずは弾性線維の主要蛋白質であるエラスチンの構成から始まり、レゾルシンフクシン・鉄ヘマトキシリンの特性と染色メカニズム、ワンギーソン染色の各色素の特性と染色メカニズムまでとても分かりやすく解説していただいた。EVG 染色では特にレゾルシンフクシンや鉄ヘマトキシリンの染色性で標本の良し悪しが左右されるのは感じていたが、その理由をメカニズムからわかりやすく講演していただいた。

今回講演いただいた染色原理やアンケート報告を参考にいただき各施設にあった染色液やプロトコールを選択して最良な標本作製をしていただければと思う。

提出日：平成 30 年 3 月 15 日

文責：金泉 恵美子